

AIが論文を書けるか?!

東広島キャンパス

「学術論文執筆における生成AIの活用と倫理的配慮」

霞キャンパス<医系科学研究科・病院合同FD>

Part 1 「研究・英文論文執筆などにおける生成AIの活用」

Part 2 「研究者はどこまで生成AIを使用可能であるか」

対象：広島大学の研究者 ※大学院生も参加可
対面参加のみ新任教員研修プログラム対象

日時・会場

東広島キャンパス

2024年10月22日（火）【日本語】 15:30 - 17:00

会場：ミライクリエ2階大講義室 & オンライン

霞キャンパス

2024年10月23日（水）

【英語】 15:30 - 16:30 【日本語】 17:30 - 18:30

会場：医学部第4講義室

※英語と日本語の講演内容は同じです。

この3つのセミナーでは、研究と学術論文執筆における生成AIの活用と倫理的配慮について議論します。東広島キャンパスでは日本語で90分のインタラクティブなセッションを行い、一般的な学術論文執筆における生成AIの利用と課題を探ります。霞キャンパスでは、医学分野に特化した内容で、日本語と英語で各60分のセッションを実施します。すべてのセッションにおいて、最新の生成AIツールを紹介し、それぞれの長所と短所を比較検討します。これらのセミナーを通じて、参加者は最新の生成AI技術の可能性と限界、そして学術研究における適切な使用方法について理解を深めることができます。

講師



トム・ガリー Tom Gally

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教授として、アカデミック英語プログラムの開発・運営に携わった。現在は東京大学名誉教授、同大学グローバル教育センター特任教授。学術リテラシーの視点から、大学における英語教育と機械翻訳・生成AIの問題について情報発信を行っている。個人サイト：gally.net

参加登録はこちら

